



都立 神経病院

〒 183-0042

東京都府中市武蔵台二丁目 6 番 1 号

電話 042-323-5110

URL <https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/tmnh/>

病院の 概要

脳神経系疾患に対する内科系および外科系臨床科を網羅した高度専門病院です。神経疾患に特化した専門病院としては国内最大規模を誇ります。有床標榜科は脳神経内科・脳神経外科・神経小児科・神経眼科・神経耳科・麻酔科であり、これに神経精神科・リハビリテーション科・神経放射線科・歯科を加えた 10 の診療科があります。

稼働病床 296 床のうち、脳神経内科が 218 床を占め、32 名の脳神経内科医（うち神経内科専門医 29 名）が、あらゆる神経疾患の診療にあたっています。また神経救急医療から慢性期ケア、終末期緩和治療、病理解剖に至るまで神経疾患に関する高度専門医療を提供しています。

さらに、地域連携・多職種連携による切れ目のない神経難病診療を特徴としています。地域療養支援室を中心とした往診制度により、患者を長期にわたってフォローできる他、院内の多職種チームが摂食嚥下や呼吸器装着などをサポートしています。

■ 診療科目

脳神経内科 神経精神科 神経小児科 脳神経外科 神経眼科 神経耳科 リハビリテーション科
神経放射線科 麻酔科 歯科

■ 連携施設となる診療科（カッコは東京医師アカデミーにおける基幹施設病院）

- ・内科（広尾 / 大塚 / 駒込 / 墨東 / 多摩総合 / 多摩南 / 大久保 / 多摩北 / 荏原）
- ・麻酔科（広尾 / 大塚 / 駒込 / 墨東 / 多摩総合 / 東部 / 荏原 / 豊島）
- ・耳鼻咽喉科（多摩総合）
- ・病理科（多摩総合）
- ・放射線科（駒込）
- ・総合診療科（多摩総合）



(講義風景)



(集合写真)

臨床研修委員会委員長からのひとこと



脳神経内科医長
藤 陽子

私たち都立神経病院は、脳神経内科だけで7病棟・200床以上もある、世界でも有数の神経専門病院です。毎週40～50名の神経難病患者さんが入退院し、脳炎やギラン・バレー症候群で集中治療を行う急性期の患者さんも大勢います。また、診断や初期治療から呼吸器装着、リハビリテーション、在宅診療、終末期緩和ケア、病理解剖まで、神経難病のすべてを自分の目で確かめることができます。そのため神経内科専門医試験の合格率はほぼ100%です。

都立神経病院での後期研修は、大学とも一般病院とも異なる「第3の道」です。まず、人気の研修施設である都立・公社病院を基幹施設とする内科専門研修プログラムに所属できるのが、大きなメリットの一つです。また、都立神経病院には学閥はなく、勤務時間や当直業務は既定の範囲内です。さらに、病床数、専門医数、指導医数は全国最大規模ですので、格段に豊富な症例を経験できます。そして、神経生理、神経病理、放射線診断、高次機能、筋疾患、免疫性疾患などの専門家が指導にあたりますので、国際学会や論文執筆を誰もが経験できます。

後期研修を修了した後は、当院で働きながら東京都医学総合研究所で研究し、医学博士号を目指す道の他、故郷の大学院に進む先生も数多くいます。東京は初めてという方や女性の先生も、心配なさらずご応募ください。皆さんの期待を裏切らない研修ができるはず。当院での研修を心よりお待ちしております。

シニアレジデントからのひとこと



脳神経内科
4年次
島崎 壘

当院では総勢32名の脳神経内科医が在籍しており、我々レジデントは上級医の指導のもと、神経難病、希少疾患を多く診療し、そこで得られた知見を論文や学会などで発信する機会が与えられます。ICUも有しているため超急性期の患者にも対応することができ、慢性期、剖検と患者さんに最後まで関わることができるため、短期的、長期的視点で診療を行うマインドをバランス良く養うことができます。多くの症例を経験するなかで、非典型的な所見や経過に多々遭遇しますが、こうした例外に適切に対処するには、知識と経験よって裏打ちされた総合的な視点をもった臨床能力が極めて重要になります。臨床能力は詳細な病歴聴取や診察の上で、過不足なく検査を実施し、適切に介入する、不明点は文献にあたり解決するという、地道なプロセスを繰り返すことで精度とスピードが向上し、難しい症例にも対応できるようになり、それがよりよいアウトカムにつながると考えております。神経病院ではそうした機会をたくさん得ることができます。また最初の一年間は隣接する多摩総合医療センターで研修しましたが、そこでの経験は神経疾患のみにとらわれず、幅広い視点で症例を考察する能力の向上に役立ち、そうした点も都立・公社病院での研修の強みと言えます。当院は学閥、医局なども一切関係なく広く門戸を開けております。脳神経内科に興味のある先生は是非、当院で我々と共に切磋琢磨しましょう。



(修了式)



(シニアレジデント発表会の風景)